

平成30年度第2回登別市教育委員会会議録

日 時 平成30年5月31日（木）午後4時30分

場 所 登別市民会館 小会議室

第2回 教育委員会議事日程

1 日 時 平成30年5月31日(木)午後4時30分

2 場 所 登別市民会館 小会議室

3 議 案

議案第2号 登別市立図書館協議会委員の任命について

議案第3号 登別市社会教育委員の委嘱について

議案第4号 登別市スポーツ推進委員の委嘱について

4 情報提供

(1) 登別の教育推進に関する検討会議について

(2) 駐日デンマーク王国大使のご訪問について

(3) 運動会出席者の調整について

(4) 平成29年度巡回パトロール活動及び街頭指導等状況調書について

(5) 平成29年度不審者等出没状況調書について

(6) 登別青嶺高校の間口調整について

5 出席者

(教育委員会4名)

教育長	武田	博
委員	垣内	登紀子
委員	赤井	秀輝
委員	堅田	裕

(事務局9名)

教育部長	佐藤	史彦
教育部参与	野崎	均
教育部次長	橋場	太
総務部グループ建築主幹	出口	利美
学校教育グループ総括主幹	舘下	貴子
学校教育グループ学務主幹	小野島	晶
社会教育グループ総括主幹	安部	直也
学校給食センター長	吉田	富士夫
図書館長	綿貫	亨

○**武田教育長** それでは、本日の委員会は森口委員が所用のため欠席となっておりますが4名の委員が出席されておりますので、有効に成立していることをご報告します。これより平成30年度第2回教育委員会を開催します。本日の議事は議案3件になります。早速議事に入ります。議案第2号「登別市立図書館協議会委員の任命について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○**綿貫図書館長** はい。議案第2号は登別市立図書館協議会委員の任命についてであります。1ページをご覧ください。提案理由ですが、登別市立図書館協議会委員が平成30年5月31日をもって任期満了となるため、図書館法第15条、並びに登別市立図書館条例第7条の規定により委員を任命するものであります。委員の定数は5名でありまして学校教育の関係者として登別市校長会の推薦により幌別西小学校校長の神谷博達さん、社会教育の関係者として合田美津子さんと松原條一さん、家庭教育の向上に資する活動を行うものとして須藤和恵さん、学識経験のあるものとして柴山太一さん。以上の5名であります。任期は平成30年6月1日から平成32年5月31日までの2年間です。以上ご審議のほどよろしくお願ひ申し上げます。

○**武田教育長** ただ今説明がありました議案第2号について、ご質疑ございませんか。

(「ありません」の声あり)

○**武田教育長** それでは、議案第2号については、承認することとしてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○**武田教育長** それでは、議案第2号については、承認することとします。次に議案第3号「登別市社会教育委員の委嘱について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○**安部社会教育グループ総括主幹** はい。議案第3号は登別市社会教育委員の委嘱についてでございます。資料は3ページです。登別市社会教育委員につきましては平成30年5月31日をもって任期満了となるため、登別市社会教育委員に関する条例の規定により委員の委嘱をするものであります。内訳といたしましては再任が10名、新任が4名で合計14名の委嘱となっております。委員の選出方法

につきましては社会教育行政に関係する団体からの推薦によるもののほか、学識経験者の枠としまして個人に直接依頼をしております。この度名簿の一番下段になります。元日本工学院北海道専門学校副校長の石井憲一氏を新たに選出しております。任期につきましては平成30年6月1日から平成32年5月31日までの2年間でございます。以上ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○武田教育長　ただ今説明がありました議案第3号について、ご質疑ございませんか。

（「ありません」の声あり）

○武田教育長　それでは、議案第3号については、承認することとしてよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○武田教育長　それでは、議案第3号については承認します。次に議案第4号「登別市スポーツ推進委員の委嘱について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○安部総括主幹　はい。登別市スポーツ推進委員の委嘱についてであります。資料は4ページになります。登別市スポーツ推進委員につきましては15名のうち7名が平成30年5月31日をもって任期満了となるため、スポーツ基本法の規定により委員の委嘱をするものであります。内訳といたしましては7名全員が再任となっております。任期は平成30年6月1日から平成32年5月31日までの2年間でございます。以上ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○武田教育長　ただ今議案第4号について説明がありました。ご質疑ございませんでしょうか。

（「ありません」の声あり）

○武田教育長　それでは、議案第4号については、承認することとしてよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○武田教育長　それでは、議案第4号については承認することとします。以上で本日の議事は全て終了しましたが、その他事務局から情報提供などありましたらお願いします。

【情報提供案件】

○野崎教育部参与 はい。情報提供です。資料の1ページを見ていただければと思います。登別の教育推進に関する検討会議についてでございます。技術の革新やグローバル化の一層の進展に伴い社会が急速に変わる中、次世代までを長期的に見通して持続的に成長・発展する社会を実現するためには、自立した人間として主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する人材の育成が強く求められております。こうした中、国においては「第3期教育振興基本計画」策定に向けて、この3月に中央教育審議会から答申が出され、十数年先の社会の変化を見据えた教育政策に関する基本的な方針や、今後5年間の教育政策の目指すべき方向性が示されております。本市におきましては、平成21年に策定した「学校教育基本計画」を基に、これまで学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら協働・連携した教育の推進に努めてまいりましたが、本計画が今年度で終了することに伴い、次期計画の策定に当たりましては、本市の教育推進の在り方について、資料3ページにあります学識経験者や地域関係者の方々、各種団体の方々からご意見をいただき、登別の実情に合った計画の策定に努めてまいりたいと考えまして、本検討会議を設けました。資料1ページにありますように、今年度末までの組織と今のところ考えておりまして、年間8回程度の会議を予定しております。第1回目は5月14日に開催しまして、会長には日本工学院北海道専門学校副校長の俵藤先生を、副会長には登別市校長会会長の嶋原先生を選出して会の目的並びに今後のスケジュールを確認しました。

次に資料の4ページと5ページをご覧ください。本市が東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンに登録されたことから、デンマーク王国のフレディ・スヴェイネ駐日大使が4月26日に登別市にお越しになり、ファボー・ミッドフュン市のノーアエア校と姉妹校締結している幌別中学校で、講演会をしていただきました。生徒や市民の方合わせて250名がお話を聞きました。デンマークの文化や教育についてお話する中で、特に大使がおっしゃっていたのは、自ら進んでコミュニケーションをとることの大切さを生徒たちに伝えていただきました。翌日は登別明日中等教育学校で後期生を対象に講演をしまして、その後校長室で数名の生徒

と交流しました。大使は、登別市との交流にさらに期待を寄せられておりましたので、東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、子どもたちを中心にさらなる取組が進むよう、教育委員会として協力をしていきたいと考えております。

○橋場教育部次長 はい。資料の最後のページになります。今年度の運動会が6月9日と16日に予定されております。9日が5校、16日が3校となっております。応援をお願いしたいと思っておりますので、確認したいと思っております。

○安部総括主幹 はい。社会教育グループからは、「平成29年度巡回パトロール活動及び街頭指導等状況調書について」と「平成29年度不審者等出没状況調書について」情報提供いたします。資料は事前にお配りした2つの冊子になります。まず、巡回パトロール活動及び街頭指導等状況調書になります。資料の1ページをお開きください。上の表ですけれども青少年センターにおける平成29年度市内巡回パトロールの実施状況です。学校区別に青色パトロールカー2台で実施をしております通常巡回のほか、列車添乗や祭典時の巡回、夏休み、冬休み等の特別巡回を実施しまして、平成29年度の指導人数の合計としましては119人でございました。下の表の方に過去5か年の実績を載せておりますけれども平成28年度は110名でしたので、前年比較で9名の増となっております。次に2ページをお開きください。こちらは平成29年度の青少年指導委員、これは学校の先生や一般の市民の方に委嘱しておりますけれども、街頭指導の参加状況となっております。表の一番下の方に米印の1という記載がありますけれども平成29年度につきましては青少年指導委員として学校教諭が30名、一般市民28名の合計58名を委嘱しております。青少年指導委員の通常巡回、特別巡回の参加率につきましては表の中段の右側のところに網掛けされております市合計と書いておりますが、84.8%の参加率となっております。次に3ページですが、平成27年度から平成29年度までの街頭指導状況の内訳の表となっております。平成29年度の指導の内訳といたしましては表の左側の方に行為別の記載がありますけれども自転車等という、これは二人乗りですとか、無灯火、逆走など、自転車の乗り方に関するものが29年度は37件、危険な行為としまして道路での遊びですとか、スケートボードなどの指導などが78件が主なところでございます。4ページ以降につきましては詳細な資料となっておりますので後程ご確認いただきたい

と思います。続きまして不審者等出没状況についてご説明させていただきます。資料の1番後ろの表を見ていただきたいと思いますのですけども青少年センターに通報のありました市内における過去5か年の不審者等出没件数及び児童生徒被害状況でございます。表の1番目は月別の発生件数になります。平成29年度の不審者、変質者の出没件数の総数としましては12件ということで、平成28年度は30件でしたので18件の減少となっております。月別で見ますと8月、9月、あと12月から2月までの出没が0件となっております。次に表の2ですが、被害内容と件数になります。平成29年度は声掛け事案が4件、付きまとい、露出が1件ずつで、のぞきが3件、その他とありますが、これは両手を広げて通せんぼをしたりといったもので3件となっております。表の3以降につきましては発生曜日、発生時間帯、学年別の内訳となっております。また、資料の1ページと2ページに平成29年度に発生しました12件の事案ごとの詳細が載っております。3ページ以降につきましても各種統計資料を載せておりますので後程ご覧いただければと思います。以上でございます。

○野崎教育部参与 はい。本日資料を配りました登別青嶺高等学校間口調整についての要望という資料を見ていただければと思います。道教委から教育長に対しまして4月20日に、「高校の間口調整に伴い、平成33年度に登別青嶺高等学校の間口を4から3にしたい」という考えが提示されました。このことを受けまして取り急ぎ、登別市並びに登別市教育委員会の考えを伝えなければならないと判断し、市としての考えをまとめ5月24日に市長並びに教育長が道教委に要望書を提出しております。その時の要望書を資料として配付しております。急ぎの対応でしたので、報告が事後になりましたが、ご理解いただきたいと思います。要望書は、大きく2点でまとめております。1点目としましては西胆振全体で間口調整を行ってほしいこと。例えば人口の割合で西胆振の市を考えたときに、どれくらいの普通科の高校が、子どもたちの受け皿として必要なのかという観点に立って考えてほしいということでございます。2点目としましては登別市の将来を担う人材育成を考えて欲しいということ。資料の3ページを見ていただきたいと思います。これからの高校づくりの指針の概要版というのが3月に道教委から出ています。その真ん中の(2)配置の基本的な考え方で、ア全日制課程の可能な

限り1学年4～8学級の望ましい学校規模を維持というところの下に小規模校とありまして、1学年が3学級以下の高校の取り扱いが、可能な限り望ましい学校規模となるよう近隣の高校と再編というところが3月に出ているところから、もしこの考え方でいくのであれば3間口になる青嶺高校も近隣の高校と再編の対象になるのであれば、登別市に高校が無くなる可能性もあるということを含めまして、人材育成に関わって地元で高校をとということを2番目の項目で掲げているところがございます。また、要望書の後段括弧書きで登別市における将来的な高等学校の展開についてというところで、特色のある高校づくりにご理解いただきたいというところで今持っている意見として、例えば、そこに書きましたように国際化に対応する選択学科ですとか、幅広い進路希望を叶えることができる単位制の導入ですとか、高校の学級は40人学級で進んでいるのですが35人学級の先行的な取組を登別市でしていただけないかとかそのような要望というか意見も合わせてお伝えしてるというところがございます。資料5ページは4月20日に検討会議が開かれたときの資料でございます。今後の30年から31年、32年の配置の中で室蘭工業高校ですとか、32年は室蘭東翔高校ですということが書かれています。全道の動きというところ。6ページから9ページは今までの子どもの推移とこれからの予想される子どもの数でございます。それをまとめているのが9ページの地域別検討協議会学区別検討資料（胆振西学区）になります。平成33年度に4月20日の時点では2から3学級の調整が胆振西学区で必要ですということがございます。それからもう一つこれからの指針というところで触れましたけども9ページの下の方の現状と課題というところの2つめのところで、「平成34年以降については、37年までに学区全体で146人の中卒者数の減が見込まれていることから欠員の状況、学校、学科の配置状況を考慮して、室蘭市及び登別市において定員調整の検討が必要」となっております。そのところで登別市と書いてあるところから今回33年度で調整されたうえに37年度のタイミングで更に減らす対象になっているという標記がありますので、そのあたりのところも要望の中には入れていかなければいけないというふうに考えて、先ほどの2番の項目を起しているというところがございます。10ページですが、登別市内の状況というところでこの資料は道教委の方から4月20日の話が教育長の

ところに来たときに示された資料となっております。特に2番目の学区内定員調整の経過のところ、平成20年度以降の3つの市の調整校のことが書かれているのですが、登別市はありませんと書いているところ。実は平成19年には青嶺高校が1間口の調整をしていたりとか、ここには書かれない私立学校の登別大谷高校の調整が行われていたりというところも実はあるというところも伝えてきています。11ページは先ほど説明した中学校卒業者の普通科に希望している希望している子どもたちの中で登別が今160人の枠を持っているのはそんなに多い数字ではないのではないですかということを示している資料です。12ページは普通科収容率というところで見るときに学区内の市の中で中学生の卒業者の数に見合った普通科の高校の間口を割合で考えたときに真ん中に書いてある収容率というところを見ていただければバランスのとれた収容率というのを考えていくべきじゃないですかということで、この資料も5月24日に道教委の教育長に渡してきた資料でございます。以上です。

○武田教育長 高校の適配に関してはこの後動きがありまして、先ほど道教委の担当課長から電話がありまして登別に示した33年度における青嶺高校の間口減というのを6月5日の教育委員会にかけていきたいという方針が決まりましたという通知を受けました。報道は6月6日の朝刊で報道されるだろう。それで実際の説明会は7月19日ころに夜間開催ということで、この圏域の説明会を実施したいということでございました。いずれにしても地域振興の面からこれからも対応していかなければならないと思いますので、その辺は市長部局と協議しながら動きを作っていくということにしたいと思いますので理解をしていただければと思います。いま情報提供の5件と青嶺高校の間口調整という説明がありましたけども運動会の出席調整が一番最後にしたいと思います。ご質疑、ご意見ありましたらどこでもよろしいです。ご質問、ご意見等ありませんか。

○垣内委員 平成29年度の不審者の出没状況データをいただきましてありがとうございます。こちらメール配信されているものでございまして、それを見ながら心配をしています。このなかで状況を発信されて私ども見ているのですが、この中でこの人が多分犯人だろうと思われることで検挙されたとかそういうようなデータとかは無いのでしょうか。

- 安部総括主幹** 直接は警察の方からそういった連絡は入ってこないのですが、内々で聞いて把握することはありますが、正式には直接入って来ない仕組みになっています。
- 垣内委員** 結局は被害を及ぼしたと思われる人が、認めないと発表できないことになるのでしょうか。それが不審者情報と合致するののかというところを見極めるのがとても難しいと思います。
- 武田教育長** 警察からは直接市には来ないけども報道機関に対しては情報提供等があって新聞等で公表されるというか。
- 安部総括主幹** そうですね。それで状況が合致すればそのケースかなという。
- 垣内委員** メール配信されているものに対して、何月何日のそれに対してはこうだったというところまでは難しいということですね。分かりました。
- 安部総括主幹** 警察主導で北斗君メールで配信しているものについては直接警察の方で伝えていると思うのですが。
- 垣内委員** 分かりました。ありがとうございます。
- 武田教育長** そのほかありませんか。
- 堅田委員** 不審者の話ですが27年28年が30件くらいあって29年が大きく減ったのですが、具体的に対策があったというわけでもなく、自然に減ったのですか。
- 安部総括主幹** はっきり何が減ったのかというところは分からないのですが、不審者にあったお子さんの保護者が学校に連絡をして学校から青少年センターに連絡が入るとというのが通常ですが、それとは別に警察の方に直接刃物を持った男がいるとか、そういった事案で警察に連絡があった場合は、警察から青少年センターにも連絡があってメール配信してくださいという依頼を受けるケースもあります。そういったものもこちらの件数に含まれています。29年度は後半の方でそういった依頼が来なかったというのも実際あったようなので、その辺も要因なのかなと思います。不審者の出没自体も少なかったということです。
- 垣内委員** 市民の方から例えばですが下校途中に不審者にあってしまって自分で交番に逃げ込んだけども不在のことが多くて、ここに電話してくださいという形になっています。そういうときの対応も常駐していただけるような対応を取っ

てほしいという保護者からの要望があったものですから、その辺のところ教育委員会、市として要望できるのかどうかお願いしたいと思ったものですから、私も直接その現状というのは調べてはいないのですが、そういう時間帯というのか、そういう時にいていただければ被害防止の一助になるのではないかと考えています。

○安部総括主幹 警察ともいろいろ連携して取り組んでおりますので、そういった機会にそういう話があると伝えたいと思います。

○武田教育長 あとありませんか。それでは運動会の調整をさせていただきたいと思います。

○垣内委員 9日の午前中に予定が入っておりまして、午後からでもよろしいでしょうか。

○橋場次長 大丈夫です。

○垣内委員 よければ青葉小学校午後から行かせていただきます。あと若草小学校に行きます。

○赤井委員 私は富岸小学校に行きます。

○堅田委員 登別小学校に行きます。

○橋場次長 了解しました。

○武田教育長 事務局も行きますね。

○橋場次長 はい。行きます。

○武田教育長 それでは第2回の教育委員会をこれで終了したいと思います。最後に6月の教育委員会の開催日について予定をしたいと思いますが、事務局の方で考えがあればお願いします。

○橋場次長 6月最終週の木曜日28日で調整をお願いしたいと思います。

○武田教育長 6月28日木曜日ということで提案がありました。ご都合いかがでしょうか。

(「大丈夫です」の声あり)

○武田教育長 それでは6月の定例教育委員会につきましては6月28日木曜日16時30分から市民会館小会議室で開催することとしたいと思います。詳細に

つきましては後日事務局からお知らせください。以上で本日の会議を終了します。
お疲れさまでした。